

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2018 **4**
平成30年4月25日発行
No.100

やまのべ議会だより

2018年4月号 Vol.100



特集 100号を発売しました 2
 歳入歳出とも徹底した見直し
 3月定例会 4
 町政のここはどうする? 一般質問 10
 議会のうごき 視察レポート 17
 新しい町への挑戦 議会活動報告 18

PH / 大寺小入学式

発行 / 山形県山辺町議会
 編集 / 広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
 〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



町ホームページで
 議会中継を
 発信中!!

●発行 / 山形県山辺町議会 ●編集 / 広報常任委員会
 〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷 / 藤庄印刷株式会社

あなたの声をお聞かせください

ファミリーサポート制度
 活用します

図書室でDVDの貸し出しがあるといいな

走り回れる広い
 室内遊び場が欲しいな

毎日どこかで子育て広場があるのうれしい!

緑ヶ丘は子育て世代が多いので、お友達もたくさんできました

わたしたちは子育て世代を応援します。

表紙の説明



平成31年4月1日をもって山辺小と統合する大寺小。4月9日、創立145周年の歴史と伝統をもつ大寺小最後の入学式が行われました。

晴れの場ではにかむような表情を浮かべる7名の新入生。そんな新入生たちに優しい笑顔を向ける上級生。全校44名の喜び溢れる様子は、広い式場を春爛漫の雰囲気で見守っていました。

教育目標の「やさしく・かしこく・たくましく」大寺小の子どもであることに誇りをもち、新しい未来に向かって日々成長してくれるようエールを送ります。

編集後記

議会だよりは今回で100号を迎えました。記念すべきこの号に掲載される事の運の良さに感激しています。

山辺町議会だよりの創刊号は平成5年7月に発行されました。

創刊号の表紙を飾っているのは、サクランボハウスの写真に箱詰め作業のひとコマでした。とても大事に作業をしている様子が伝わります。

「サクランボの町やまのべ」の歴史を一步一步進めるように今後とも議会だよりを充実させていきます。

斉藤 昭彦 記

- 発行責任者
 議長 齋藤 邦彦
- 広報常任委員会
 委員長 遠藤 真由美
 副委員長 本田 四志子
 委員 斉藤 昭彦
 委員 神保 裕
 委員 渡邊 春彦
 委員 安達 彦

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>





皆さまと議会を結ぶ
やまのべ議会だより100号発行
これまでの軌跡

Pick up!



▲「ジンギスカンまつり」がにぎやかに開催されました。



▲山辺町 町制施行50周年。盛大な式典が開催されました。



▲町民プールがオープン。ウォータースライダーが目玉です。



▲山辺中学校グラウンド整備が完了。喜びの体育祭が開催されました。



▲平成5年7月の創刊号。ここから「議会だより」は始まりました。

「議会だより」を創刊してから二十五年が経過しました。この間、庁舎移転をはじめ、町中心部の道路拡張整備や緑ヶ丘ニュータウンの分譲などもあり、街並みは大きく変わりました。議会も、創刊時の議員定数20人から12人となりましたが、議会基本条例を制定するなど「身近な議会、開かれた議会」を目指し、議会活性化に取り組んできました。四半世紀の歴史をたどり、皆さまのご理解とご指導により、今回発行で100号という節目を迎えることができました。これから見やすく、読みやすい紙面づくりを目指してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

協働と安全・安心の町へ

一般会計

51億5411万円

前年比743万円の微増

歳入歳出とも徹底した見直し

平成30年度 予算総額

88億7295万円 **可決**

円滑な学校給食業務運営

〔民間事業者へ学校給食調理業務の委託など〕



3583万円

子育て環境整備

〔平成31年度開園を目指す認定こども園の施設整備費など〕



3722万円

本年度の 主な事業

本庁舎の維持管理

〔築18年経過した庁舎の屋根塗装工事など〕



830万円

住みやすい環境整備

〔豪雨時に三河尻地内の冠水を解消するため排水路整備など〕



2720万円

義務的経費（前年度比較）

（単位：千円、％）

	本年度予算額	前年度予算額	前年度比
人件費（職員給与など）	1,001,639	1,058,162	△5.3
扶助費（介護給付費など）	643,227	633,755	1.5
公債費（借金の返済など）	703,997	649,387	8.4

法令などで義務付けられ、任意に縮減できない性質の事務的経費が増え続けており、本年度は、人件費を削減するなど歳入歳出とも徹底した事業の見直しが図られました。

予算特別 委員長報告

- 大変厳しい財政状況の中で行財政の立て直しが喫緊の課題です。特に次のことに對し意見を付しました。
- 財源確保のための研究
 - 各事業の確認・見直し・経費の節減
 - 各団体への適正な補助金交付
 - 公用車の効率的な導入
 - 実効性の高い行財政改革推進
 - コミュニティバスの利用促進
 - 就労の場の確保と婚活事業の充実
 - 有害鳥獣被害への万全な対策
 - 小学校英語教育活動の充実
 - 私立高等学校生徒学費補助の再考

定例会のあらまし

第1回定例会が、2月28日から3月9日までの10日間の会期で開催され、6人の議員が一般質問を行いました。

町長より30年度一般会計並びに特別会計について予算の基本的な方針と概要の説明を受け、直ちに予算特別委員会に付託し最終日に特別委員長報告により全会一致で可決しました。また教育長任命の同意や条例の改正、補正予算など全議案を全会一致で可決しました。特に、一般職給与の独自削減案については十分な審議を経て可決しました。

平成30年度 会計別予算明細

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年度比
一般会計	51億5411万円	51億4668万円	0.1
国民健康保険特別会計	14億6099万円	17億3701万円	△15.9
簡易水道等特別会計	2390万円	1711万円	39.7
公共下水道事業特別会計	5億851万円	5億1451万円	△1.2
介護保険特別会計	15億7019万円	15億7279万円	△0.2
後期高齢者医療特別会計	1億5523万円	1億5167万円	2.3
総合計	88億7295万円	91億3979万円	△2.9

もっと

町を良くするために!

議案審議

介護保険料の見直しに同意
3年ごとに行われる介護保険事業計画の見直しにより介護保険料が見直されます。
介護保険料基準額
5,500円から5,800円に

年度	所得割	資産割	均等割	平等割
平成30年度	11・30%	—	40,000円	38,500円
平成29年度	11・40%	47・00%	40,000円	44,000円

山辺町国民健康保険税条例
山形県市町村国民健康保険広域化(県統一)により、これまでの資産割額が廃止されるなど税率も見直されます。

特別職と一般職員給与との減額
厳しい財政事情を考慮し、給与が減額されます。(平成30年4月〜平成31年3月31日までに限る)
町長 ↓ 30%
副町長 ↓ 10%
教育長 ↓ 8%
一般職
課長級から係長級 ↓ 4・5%
主査級から主事級 ↓ 2・5%

条例改正

平成29年度 一般会計補正予算

3496万円を減額し、
総額53億6275万円に

主な補正予算の内容
ふるさと応援事業

子育て支援事業(教育・保育給付費) 3203万円の増
障がい者総合支援事業 218万円の増
除雪事業 1052万円の増
自主防災組織育成事業 3000万円の増
山形広域環境事務組合事業 167万円の増
道路橋梁整備事業 709万円の減
857万円の減



大雪により豪雪対策本部が設置されました

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	事業実績見込みにより 3623万円減額	17億0078万円
簡易水道等特別会計	事業実績見込みにより 89万円減額	1778万円
公共下水道事業特別会計	事業実績見込みにより 1579万円減額	4億8039万円
後期高齢者医療特別会計	事業実績見込みにより 19万円追加	1億6601万円
介護保険特別会計	事業実績見込みにより 2267万円減額	15億9948万円

人事について

教育長任命に同意
安達幸司氏の辞任により、
多田徹氏(清水町)の新教育長任命に同意
監査委員選任に同意
任期満了に伴い、渡邊俊博氏(沢寺)の再選任に同意

平成30年度

新規&継続事業

▷道路整備

(日常生活の利便性・安全性の確保)

町道清水緑ヶ丘線の歩道整備ほか。

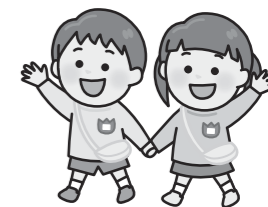
1620万円



▷認定こども園の施設整備

子育て環境の充実。

3722万円



▷有害鳥獣被害対策

農作物の被害を軽減するため、対策実施隊への活動支援などを行う。

332万円

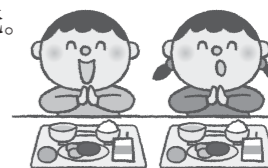


▷学校給食調理業務委託

(安全でおいしい給食を提供)

より安全な給食のために調理業務を民間事業所に委託。

3000万円



▷小島海農村公園整備(観光施設の整備)

鳥海山の展望台のリニューアルで長寿命化。ビューポイント再整備。

555万円



▷常備消防事業(さらに強固な消防力と防災力へ)

山形市との消防事務委託により、さらなる町民の安全・安心を確保。

1億9701万円



▷地域コミュニティの推進

きらりと輝く地域の絆づくり事業による地域力の強化。

1842万円



▷ひとり親家庭応援事業

(ひとり親をバックアップ)

生活応援として資格取得の学校に通う方を支援。(月額5万円、家賃2万円補助)

84万円



▷子育て支援医療の給付

中学3年生までの子どもにかかる医療費を給付。

6358万円



▷6次産業化・地産地消推進

6次産業化の推進で農業生産の向上と学校給食における地産地消の推進。

247万円



限られた予算を有効に…

予算特別委員会

チェック

Q&A

議長を除く全議員で予算特別委員会（委員長 鍋倉竹志、副委員長 斉藤昭彦）を、2月28日に設置しました。第1、2分科会で4日間の審議を行い、3月9日に委員長から総括報告を受け、本会議において全会一致にて採択されました。

総務文教

第1分科会

総務課・防災対策課・政策推進課・税務課・会計課
教育委員会教育課・議会事務局

Q 地方交付税と特別交付税・地方消費税交付金の動向は。

A 経済の動向が読めない部分がある。普通交付税は毎年2%ほどのマイナスである。
(総務課)

Q 庁舎屋根塗装工事の内容は。

A リース車は、15台。割高なのは否めないが購入も含め検討していく。
(総務課)

A 現場確認したところ相当に傷んでいた。実施することになった。特殊構造のため防水など特別仕様となる。
(総務課)

Q 公用車のリース料が増えているが、リースで良いのか。

A 町長をはじめ、弁護士、宅建業協会、不動産協会、建築士、福祉関係者など。空家に関する施策の検討、特定空家の判断、措置の検討などを行う。
(防災対策課)

Q 山辺町空家等対策協議会のメンバーは。

A 町長をはじめ、弁護士、宅建業協会、不動産協会、建築士、福祉関係者など。空家に関する施策の検討、特定空家の判断、措置の検討などを行う。
(防災対策課)

A 厳しい財政状況を見直しにより廃止した。
(教育委員会)

A 厳しい予算組みの中で政策的判断として減額した。
(政策推進課)

Q 非課税世帯の私立高等学校生徒補助金、30年度の予算ゼロ。せめて減額にすべきでは。

A 樹木管理など可能な所は行っている。高木剪定や、土日の床ワックス委託料である。
(教育委員会)

Q 学校管理の委託料、業務員では出来ない仕事か。

A 樹木管理など可能な所は行っている。高木剪定や、土日の床ワックス委託料である。
(教育委員会)



増える公用車のリース料

Q 地域コミュニティ事業の中の地域振興奨励金を1戸あたり半額にした理由は。補正で戻せないか。

A 30年度の継続団体1件分の予算募集は終了し、今後は新たな制度を考えていく。
(政策推進課)



ますます重要となる地域コミュニティ 大門塾「雪どけまつり」

厚生産業

第2分科会

町民生活課・保健福祉課
産業課・農業委員会・建設課

Q 新規スタートの認定こども園、整備の進捗状況と子育て支援施策は。

A 認定こども園への移行を希望している幼稚園の園舎の一部を改修する。31年4月以降開園の予定で、さらに幼保連携に力を入れていく。
(保健福祉課)

Q 都市公園、児童遊園など遊具の点検や環境整備は。

A 遊具点検は予算計上し、適切に管理している。地区で管理できない樹木剪定などは町で、清掃管理は地区に管理をお願いし、環境整備している。
(建設課)

Q コミュニティバスの利用者減の理由及び今後の利用促進の方策は。

A 昨年10月からコースを変更した。固定利用者は変わりないが、新たな利用者が少ないと分析している。利用者増に向けて検討していく。
(町民生活課)

Q 有害鳥獣被害対策の30年度の対応は。

A 猟友会や有害鳥獣被害対策実施隊など新規会員を増やし、今後も農作物を守るため継続して実施できるよう万全な体制で対策を講じていく。
(産業課)

Q 青年農業者の現状は。

A 新規就農者が年々減少していることから、今後その対応を広く推し進めていく。
(産業課)



山辺町青年農業者連絡協議会 Yamanobe New Agriculture Generation

耕す若人の活躍に期待！
(町青年農業者連絡協議会 PR ポスター)

Q 農業委員会推進委員の活動は。

A 農業マツチング地区における耕作放棄地など様々な問題解決に向け関係者との重要な橋渡し役を担っていただいている。
(農業委員会)



適切な管理で安心して遊べる公園に

予算特別委員会

まちづくり

第5次山辺町総合計画の中で町の諸課題をどう展開していくのか

(町長) 財政の立て直しを図りながら諸事業を進めていく



樋口 和男

質問 人口減少の最大要因は出生数の減少であり、子どもを産める女性の減少、生

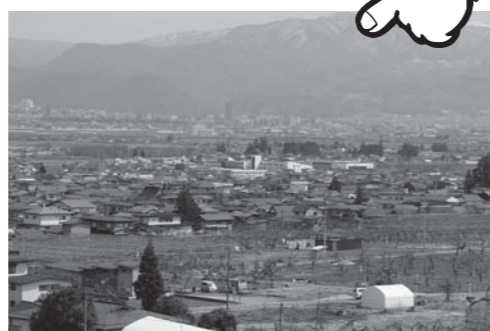
答弁 現在行っている保育・子育て事業などを今後も継続していく。

質問 2027年人口目標1万3800人と2025年合計特殊出生率目標1・6に対する今年の具体的な事業は。

人口減少が長期にわたって続く特異な状況下で、第5次山辺町総合計画を一つでも多く実りあるものにするため、数多くある課題の中から注視すべく課題を選び、私の提案を含め次の質問をする。

答弁 町単独による事業は困難であり、国や県と共に長期

涯未婚率の上昇、完結出生児数の低下などの主な原因で出生数が減少する。若い女性の職場の確保や婚活事業の充実、第3子誕生支援給付制度の確立など急ぐべきと考えるが。



人口減少対策はいかに！
諏訪山から町内を望む

答弁 都市再生整備計画事業で国の補助を活用しての駅舎の改築はできなかったの

質問 山辺駅舎改築をこのたびの都市整備の目標にしたらどうか。

にわたって取り組むことが先決である。

答弁 平成12年度に「ふれあい中学生議会・小学生議会」を開催している。議会について

質問 子ども議会または少年議会を開催してはどうか。

答弁 「セカンド市民制度」の創設や「知の巨人村」構想に



町は諸課題にどう取り組むのか！
新たな発想も必要

答弁 町の喫緊の問題である財政の立て直しを最優先するため、2月に政策推進課内に行政改革推進室を設置したところであり、職員数も限られている中、新たに設置できる状況ではない。

質問 一定期間、「人口減少対策プロジェクト」の立ち上げや「人口減少対策室」の設置をしたらどうか。

いくことが必要で、今後の課題としたい。

町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



傍聴しませんか 次回の定例会は6月5日からです。
お気軽にどうぞ。電話 023-667-1117 (議会事務局)

3月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

- 樋口 和男** まちづくり 第5次山辺町総合計画の中で町の諸課題をどう展開していくのか
- 武田啓一郎** 生活応援支援 三世代家族や近居を応援支援するやまのベファミリープロジェクトを
- 遠藤真由美** 生涯学習 今こそ生涯学習推進で、まち・ひとづくりを
- 神保 稔** 農業振興 新しいコメ政策への取り組みと町農業の推進策は
- 安達 春彦** 安全活動 山辺町の高齢運転者の交通事故に対する取り組みは
- 斉藤 昭彦** 町政課題 この任期中の課題を問う

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

生涯学習

今こそ生涯学習推進で、まち・ひとづくりを

(町長) 生涯学習推進計画の必要性については理解している



遠藤真由美

質問 組織形態の一本化により、危機管理などにも対応できる組織として期待できるが、まずはブロック協議会代表者との打ち合わせから始め、1日でも早く立ち上げられるよう検討する。

質問 いかに住民が生きがいを持ち主体性を持つてまちづくりができるか。そのためには生涯学習にさらに力を入れることが重要である。

質問 ブロック内での事業の進め方を考える時、他のブロックの情報欲しい。ブロック通信などの発行は。

質問 事業の進め方を考える時、他のブロックの情報欲しい。ブロック通信などの発行は。



絵本大好きな子どもたちを育てたい

質問 生涯学習の拠点となる公民館の地域委託の現状と今後の見通しは。

質問 生涯学習の現状と今後の見通しは。

質問 「生涯学習計画」を策定している他町では、*1人年間3冊の本を読んでもみしよう*町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着を目指しましょうなど、具体的で町民にもわかりやすい目標を掲げている。「みんながつながる協働のまちやまのべ」の実現に向けて、現在たくさんやっている事業がさら

質問 「生涯学習計画」を策定している他町では、*1人年間3冊の本を読んでもみしよう*町民一人1スポーツ・生涯スポーツの定着を目指しましょうなど、具体的で町民にもわかりやすい目標を掲げている。「みんながつながる協働のまちやまのべ」の実現に向けて、現在たくさんやっている事業がさら



地域の活性化が町の力に (大門ブロック協議会事業「ふれあい動物ランド」)

質問 生涯学習の現状の把握や課題の検証、また、将来に向けた生涯学習の在り方など、事業を展開していくための計画、実施については理解しているが、まずは教育課担当部署での検討から取り組んでいく。他町の具体的な目標も参考にしたい。

質問 生涯学習の現状の把握や課題の検証、また、将来に向けた生涯学習の在り方など、事業を展開していくための計画、実施については理解しているが、まずは教育課担当部署での検討から取り組んでいく。他町の具体的な目標も参考にしたい。

生活応援支援

三世代家族や近居を応援支援するやまのべファミリープロジェクトを

(町長) さらに行革後、町民に喜ばれる効果的な施策に取り組む



武田啓一郎

質問 行政調査で大阪府の都市近郊の町、人口8千人の田尻町を訪ねる機会を得た。人口減少と定住対策に関する都市型町村の先行的な取り組み視点を、臨空の町に垣間見ることが出来た。そうした折、町保育所の入所申し込みで、町内で子どもを見てくれる祖父母などがいれば、入所基準が低くなるという話を聞いた。保育に欠けるから保育を必要とするのに、根本的な考え方が変わったというのに、体の弱い祖母がいるので、入所点数が低くなる。三世代家族や近居を推奨し支援していかなければならぬのに、矛盾を感じる。入所審査に所得状況も加味す

質問 山辺町では、三世代家族や近居家族などに負担をかけていること、依存を暗に求めていることがあるか。田尻町は、国からの交付税に頼らない恵まれた財政状況にあり、当町もやみくもに同様のことをすべきではないか。所得について現在入所判定に加味されていないが、祖父母については、調整指数として反映している。今後入所判定の基準に忠実に、適正かつ公正な判断で入所決



財政は豊かでも、移住・定住そして働く場の確保と産業の欠如が町の課題と…田尻町の行政調査

質問 やまのべに住むと、暮らしと生活の応援支援があるとすれば、住んでみつかとなる。自然災害も少

質問 行財政改革のさらなる推進を行い、財政状況の健全化を実現した後に、町民の皆さまに喜ばれる効果的な施策の実現に取り組んでいく。



人口減少対策として、もっともつやまのべに住んでみっべ!という魅力をつくれるはず...

質問 以前、町単独で家庭保育を進め、愛着形成をより深め合うよう、応援手当てを試算したが、財源だけでなく、家庭での保育の確認方法について、制度構築は難しいとの判断をした経緯がある。

質問 行財政改革のさらなる推進を行い、財政状況の健全化を実現した後に、町民の皆さまに喜ばれる効果的な施策の実現に取り組んでいく。

安全活動

高齢運転者の交通事故に対する取り組みは

(町長) 高齢者を含む交通弱者の移動手段の確保および町にあった地域公共交通のあり方の検討・検証を行っていく



安達 春彦

質問 運転免許証を自主返納しても困らない環境づくりは、

質問 高齢者の事故防止として、介護予防事業の「いきいき教室」において交通安全専門指導員による交通安全教室の実施や町内の全世帯について交通安全の訪問活動を行っており、今後も継続実施していく。

質問 全国では高齢化に伴い、高齢運転者による死亡事故の割合が増えている。そのことから、高齢運転者の運転免許の自主返納を促すために、さまざまな取り組みを行う市町村が増えてきているが、現時点の山辺町としてはどのように考えているか。

質問 平成23年度より「やまのベコ」を発行している。より一層の利便性向上、運行の効率化を図るため、昨年度に懇話会では

質問 後継者、新規参入農業者の実態と支援・育成策は。



免許返納しても困らない環境づくり

質問 協議を行い、運行ルールなどの見直しを行った。今後は広報紙や「いきいき教室」などで更に周知を図りたい。

質問 後継者、新規参入農業者の実態と支援・育成策は。

質問 自主返納している方の多くは、自分で衰えを自覚した時に返納している模様。「いきいき教室」で行っている内容がきっかけになると考えている。なお、保健福祉センター輝らり初期認知機能の診断としてMCIの検査を実施しており、心配な方に医療機関への受診を促すなどしているの、皆さまざま協力のもとPRを行い推進していきたい。

質問 例え、普段通っている『かかりつけ医』にて、身体・認知機能の診断を行ってもらい、その衰えの傾向にある方には免許証返納を促してもらうなど、免許証を返納するきっかけづくりに取り組むことはできないか。

質問 アンテナショップの開設は経費的に難しいが、今後、町のイメージ向上と文化、産業、観光の振興を目的に「ふるさと観光大使」を設置し、アンテナショップ以上の効果を期待していきたい。

質問 町で運営するコミュニティバスやデマンドバスだけでなく、デマンドタクシーを含む、より充実したサービスを行う民間企業を立ち上げてもできるようなことはできないか。

質問 現在、各病院を往復するバスがあるように、行政だけでなく、地域の助け合いやNPO、民間企業を含めて総合的に移動手段の確保が必要であると考えている。

質問 アンテナショップの開設は経費的に難しいが、今後、町のイメージ向上と文化、産業、観光の振興を目的に「ふるさと観光大使」を設置し、アンテナショップ以上の効果を期待していきたい。

質問 現在、各病院を往復するバスがあるように、行政だけでなく、地域の助け合いやNPO、民間企業を含めて総合的に移動手段の確保が必要であると考えている。



免許返納を推進して高齢者の事故リスクを減らす

農業振興

新しいコメ政策への取り組みと町農業の推進策は

(町長) 「売れるコメ」の安定取引の推進と「ふるさと観光大使」設置による町情報発信を進めていく



神保 稔

質問 農家数の現状と見通しは。

質問 飼料用米、そばについては、これまで同様の交付金への独自助成の上乗せと面積に応じた団地加算の支援を継続し、水田のフル活用と本作物を促進していく。

質問 担い手の利用集積の実態と今後の見通しは。

質問 後継者、新規参入農業者の実態と支援・育成策は。

質問 30年1月では、町内126経営体のうち後継者がいる経営体は22で全体の17%となっている。現在、各地区において農業を考えるワークショップを開催し、就農者の受け入れ体制づくりや支援などの検討をしている。

質問 ブランド化への取り組みは。

質問 アンテナショップの開設は経費的に難しいが、今後、町のイメージ向上と文化、産業、観光の振興を目的に「ふるさと観光大使」を設置し、アンテナショップ以上の効果を期待していきたい。

質問 現在、各病院を往復するバスがあるように、行政だけでなく、地域の助け合いやNPO、民間企業を含めて総合的に移動手段の確保が必要であると考えている。



飼料用米の作付地



新しく導入される保険制度

視察レポート 小さな町の 大きな挑戦に学ぶ

議会 活動報告

町政課題

この任期中の課題を問う

(町長) 健全な町政経営にまい進していく

1月23日～25日まで総務文教委員会で、行政視察を行いました。

兵庫県淡路市では保存している活断層を見学。日本で2番目に小さな町、田尻町では人口維持対策を、また日本一小さな町、大阪府忠岡町では自主防災組織のあり方を学びました。

人口減少化に備え、コンパクトで一人ひとりの顔が見える移住・定住支援制度や、自主防災組織への積極的な参加意識など、今後のまちづくりの参考となる有意義な視察となりました。



当時の活断層のずれをそのまま保存

**「地震の脅威を忘れない」
野島断層保存館**
阪神淡路大震災時、地震発生からわずか10秒の間に現れた活断層の内、140メートルを建物の中に保存している野島断層保存館を視察しました。ここで保存されている野島断層は、平成10年、天然記念物に指定され、地震のエネルギーの大きさと自然の驚異を伝えていきます。
この地震で、淡路島の住宅の全壊率が神戸市内より大幅に高かったのにも関わらず、亡くなられた方の割合が半分で済んだのは、普段から住民同士の関係性の深さがあつたからと説明をうけました。



人口維持の対策を聞く

**「たじり8千人の
大家族プロジェクト」
田尻町**
大阪府の南部に位置し、平成7年に開港した関西国際空港のある町、田尻町。「たじり8千人の大家族プロジェクト」を立ち上げ、住民が大きな家族のように安心して暮らしていけるというビジョン推進のため、三世代家族をソフト面から支援したり、働く世代への応援と移住・定住の促進、また全国で2団体目という個人町民税10%減税などを実行しています。この減税は平成31年度までの3カ年ですが、このような安定した税収があるにも関わらず、先を見据えた人口減少対策に取り組んでいました。



充実した消防装備

**「自主防災組織率100%」
忠岡町**
忠岡町は全国一小さい面積4km²(近江地区の2倍ほど)に人口1万7306人が住むコンパクトな町で、早くから地元住民により組織された自主防災組織率は100%。カードに書かれたことについて話し合いながら進めていく「避難所運営ゲーム」で図上訓練を行ったり、パケツリレー訓練など、防災における住民の意識の高さを感じました。巨大地震による津波襲来の対応や、近年の豪雨災害による川の氾濫などへの対策が今後の課題とのことです。当町でも活断層が走り小鶴沢川の氾濫などが想定されており、さらなる住民の防災意識の高揚につながるよう努めていきます。

質問 19余年初心を常に心にとどめながら首長として町を担ってこられた中での課題は。また残任期間の目標は。

答弁 5期目の任期中は第4次山辺町総合計画の総仕上げの時期であり、実現と実行を基本とし、継続性を持った町政運営に取り組んできました。

まずは、定住人口対策で『緑ヶ丘』のまちづくりの定住化である。今後はコンパクトな市街地形成および空き家対策によって定住化に向けて関係法律をうまく活用して推進することが課題である。つぎに、近隣市町との連携である。山形市との消防事務

委託によって、当町に近い西崎出張所が西消防署となり機能拡大され、より安全安心なまちづくりが形成された。今後はより機能向上と活用方法などが課題となる。

また、山形広域環境事務組合のエネルギー回収施設の立谷川施設の完成である。本年12



都市再整備事業で建設された緑ヶ丘コミュニティセンター

月には、上山市川口施設も完成する予定で、当町の資源リサイクル対策ならびにごみ処理事業を安定的に推進できることになる。今後ともごみ減量化やサーマルリサイクルなど維持管理に対し、関係市町が連携強化して取り組んでいく。しかし、第4次総合



町営住宅南風園建替後の「ウィングガーデン山辺」

計画を推進する中で、都市再整備事業の緑ヶ丘コミュニティセンターの建設や町営南風園住宅建替え事業など住宅・住環境の整備事業を行ったことで公債費の増加の要因のひとつになった。

今後は、後年度負担の軽減対策を基本に行財政改革に取り組み、いく決意をしたところで、まずは事業の優先順位を考慮し、健全な町政運営にまい進していく。

質問 事業の優先順位とはどのように決定するのか。

答弁 町民の安心安全が最優先である。当然、地元を守る消防団は必要不可欠であり、さらなる安心安全のためにも常備消防も重要な役割を担っていただいている。

また町を背負っていく子どもたちのための投資も優先していかなければならない。



斉藤 昭彦

厚生産業常任委員会

被害を最小限に
有害鳥獣被害状況を聞く

有害鳥獣（イノシシ）被害などの現状について、2月13日山辺町猟友会より報告していただきました。平成29年度2月まで、農作物の食い荒らしなど18件の被害発生や目撃情報に寄せられています。

町では、有害鳥獣対策実施隊員を年度当初より10人増やして、隊員33人で駆除活動を行っており、平成29年度は北山の軽井沢地内でイノシシ3頭を捕獲するなど、駆除活動を実施しました。また大寺地区を対象に2月4日、隊員24人で一斉捕獲を行いました。

活動することで、被害を最小限に食い止めることができますが、他の地区に逃げてしまうこともあり、広い範囲で大掛かりな対応が求められています。



イノシシ被害をくい止める（箱罠設置作業）

今後は、山間部だけでなく平野部の畑や民家などに侵入してくることも考えられ、委員会としても隊員が活動しやすいよう、関係機関にさらに支援を求めたいと思います。

総務文教常任委員会

公有地の活用
道しるべを

早期有効活用が望まれる公有地などについて、1月30日担当主管課と意見を交換しました。玉虫湖畔跡地は、今後サウンディング型市場調査を行い、民間事業者の有効活用策を委ねていくことが町から示されました。学校跡地については、現状維持管理と多額の経費が見込まれるなどの課題があり、また、文化会館建設予定地については、現在建設計画など議会に示せる状況のものはないとしています。



どうする、総合文化会館建設予定地

※サウンディング型市場調査とは
町有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見・提案を求め「対話」を通じて市場性を把握する調査。

これまでも公有地の活用方針については、たびたび議会的一般質問などでさまざまな提案を行ってききましたが、今後は、議会報告会や出前議会、議員と語る会などで、町民の意見を集約しながら、政策提案してまいります。

総務文教常任委員会

復興道なかば
女川町議会の対応は

「震災！災害。議員は平日頃からどういう心掛けて、何をしておくべきか」を最重要テーマに、宮城県女川町に、3月19日行政調査を行いました。

東日本大震災で壊滅的な被災に見舞われた女川町は、死者行方不明827人、町の9割が姿を失いました。当時、町の災害対策本部には、町長の意向で議長のみが出席。議員は地域の声を聞くことしかできませんでした。

有事の際それぞれ議員はどうしたら良いのか、その後女川町議会では災害対応指針を立ち上げ、町民・業界・行政・議会の『四輪駆動』で復興まちづくりを推進していました。

『女川は流されたのではない。新しい女川に生まれ変わるんだ』との願い、祈りで復興された駅前の『シーバルピア女川』は、象徴的な観光拠点となり賑わっていました。



初日の出を望めるようつくられた駅前広場

山形広域環境事務組合

サーマルリサイクルで
燃焼効率アップ

定例議会が2月14日開催され、平成29年度補正予算並びに平成30年度予算、歳入歳出それぞれ25億3717万円を原案通り可決しました。

その後全員協議会でエネルギー回収施設（川口）建設工事の進捗状況、訴訟の概要について協議しました。

エネルギー回収施設では「もやせるごみ」に加え「プラスチック類」も焼却し、サーマルリサイクル（熱回収）することになります。ごみの分別区分については、これまで通り「もやせるごみ」と「プラスチック類」分別を継続いたします。皆さまのご協力よろしく申し上げます。



平成30年12月から稼働予定のエネルギー回収施設（川口）

最上川中部水道企業団

安全で安定した
水の供給を

最上川中部水道企業団議会が、3月23日開かれました。

定例会の前に中山、山辺、山形の企業団の水道施設を視察し、一番重要なライフラインである上水道を、いかに安定して皆さまにお届けしているかを説明していただきました。普段何気なく飲んでいる水もこうした努力の上にあるのだとあらためて感じました。

定例会では山形市との水道料金の格差などについての質問が出されました。

鍋倉竹志議員
自治功労者として表彰

前山形県町村議連合会長として地方自治の進展に寄与された功績により、全国町村議長会特別表彰が授与されました。



イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 日本一さくらんぼ祭り ～すこだまつながる山形～	文翔館前、七日町大通り	6月23日（土）～24日（日）	ダンスやお神輿、さくらんぼマルシェなど、最盛期の「さくらんぼ」にちなんだ祭りです	日本一さくらんぼ祭り実行委員会 Tel 023-630-2373
上市市 やまがたワインバル2018inかみのやま温泉	上山城周辺	7月7日（土）	県内外のワイナリーが一堂に会する大イベント	上市市観光物産協会 Tel 023-672-0839
中山町 全国かぶと虫相撲大会	中山町総合体育館	7月16日（月・祝日）	相撲大会、木のぼりレース、スタンプラリー、ゆるぎやら大集合、出店など	日本カブト虫相撲協会 Tel 023-662-5777

第8回議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

日時：6月2日（土）夜7時～
会場：中央公民館

まちづくりは、ちょっとした
アイデアから生まれます！

参加者みんなが声を出せるスタイルで、山辺の未来について話してみませんか。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。